

《銀鈴波チャボ》2011年



いきものたちの けはいとともに… ミロコマチコがやってくる!

ミロコマチコ いきものたちの音がきこえる
2017.7.8[土]—9.3[日]

いに!今もっとも旬の
絵本作家・ミロコマ
チコの大展覧会が開
催されます!

ミロコさんは、デビュー作『オ
オカミがとぶひ』(イースト・プレ
ス 2012年)でいきなり第18回日本
絵本賞大賞を受賞。以後、出す絵
本がほとんど賞をとるという、驚き
の新星として登場しました。

ミロコさんの絵の魅力は、なん
といってもその大胆でスピード感
あふれる描きっぷり! 絵本を出す
前から展覧会をずっと開いていた
といいますが、今回も「大地をふ
みならす」「そらを吹く」「ひびく夜」
「芽生えのうた」「庭のこえ」の5
つのテーマで、たくさんの動物た
ちが走り、雄叫びをあげ、空を飛

《ホッキョクグマ》2015年

ぶ様子が見られ
ますよ!

さらにミロコ
絵本の「ことば」
にも注目。もとも
と人形劇の「お
はなし」をつくっ
ていたというミ
ロコさん、独特
の話術はこんな
ところからきて

いるのかもしれません。

オオカミが風をおこし、ゴリラ
がカミナリを鳴らす『オオカミがと
ぶひ』。愛する暴れ猫、鉄三との
日々『てつぞうはね』(ブロンズ新
社 2013年)。深い海に揺られる
夜を楽しく描いた『ぼくのふとん
はうみでできている』(あかね書房
2013年)。なにもかもが
黄色、きいろ、…とオレ。
世界を驚嘆させた
『オレときいろ』(WA
VE出版 2014年)。

つちにまみれて、
おひさまのもとで大
地に生きる『つちた
ち』(学研プラス
2015年)。そして最
新作、けものたちの



生臭い息遣いがほとばしる『けも
のにおいがしてきたぞ』(岩崎書
店 2016年)。

ミロコマチコといきものたちの
おどろきの世界。なんだなんだ?
と思いながら、えーんなにこれ!? と
ビックリしながら、なぜか気持ち
がよくなる展覧会。ぜひ見に来て
下さいね!

(副館長・学芸グループ長 坪井則子)



ミュージアムショップ

ミロコマチコさんの弾けるような色彩で描かれた動物たちが
グッズになりました。

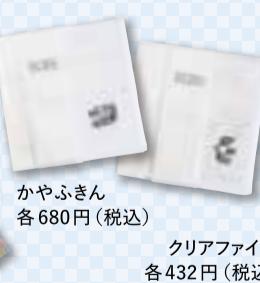
ポストカード
ダイカット
各324円(税込)



ハンドタオル
各 540円(税込)



トートバッグ
各 5,400円(税込)



クリアファイル
各 432円(税込)



手ぬぐい 各 1,300円(税込)

*「ミロコマチコ いきものたちの音がきこえる」展覧会期間(7/8~9/3)のみの販売です。

美術館で 虫愛づる

虫尽くし展
2017.9.9[土]
—11.5[日]



浦上春琴《牡丹群雀図》
江戸時代・天保12年(1841)

「虫」めづる姫君——虫
の大好きなお姫様の
話が、平安時代後期
以降に成立の『堤中納言物語』
中の一編にあります。虫を愛でる心
は美術工芸品にも及び、古くから
虫を題材とした作品が作られてき
ました。

このたび開催の「虫尽くし」展は、
当館の所蔵品も出品します。ここ
では近年お目に掛けることの少な
かったコレクションから、虫に着
目した作品と見どころを紹介しま
す。

牡丹が今を盛りと咲き誇る「牡
丹群雀図」。作者は花鳥画で人氣
となった文人画家・浦上春琴
(1779~1846)です。牡丹は楊貴
妃にも例えられた富貴の象徴、傍

らに舞う蝶は再生
を意味します。
中国の吉祥画
の影響が
伺えま
すが、
穏やかな春の景に
吉兆の徵をさり気なく

描き込むところは、季節感を重
んじる日本人ならではの感性です。

「菖蒲革鈴虫金具腰差し煙草入
れ」は、日本人の四季を楽
しむ心が見られます。スズ
ムシやコオロギなどの秋の
虫を、袋の前金具や煙管筒
の木地に銅や赤銅、金蒔
絵で細やかに表しています。
袋の間からチラリと見せて、
この煙草入れを自慢する粹人の姿
が目に浮かびます。

季節問わず虫を愛でて
いたい——日

本画家・井上恒
也(1895~1979)
もその一人でした。
鳥の絵を得意と
ましたが、
昆虫採集
を趣味と
し制作にも生かしました。
羽を開閉させたキアゲハやショウ
ジョウトンボ、様々な角度からとら
えたゴマダラカミキリ。丹念な写
生や彩色から、小さくとも生命力
に満ちた虫への敬意や慈愛が伝わ
ります。

吉祥画として尊ばれ、季節を演
出するアイテムとなり、画家をとり
こにした、古今のアートな虫たち
約100点による展覧会(前後
期の展示替え含む)。虫好き
も美術好きも、きっと「虫」
の神秘で繊細な美しさ
に惹かれるはずです。
この秋をお楽しみに。

(学芸グループ主任 河内えり子)



▶「菖蒲革鈴虫金具腰差し煙草入れ」
明治~大正時代(19~20世紀)
▲井上恒也《スケッチ 昆虫》(部分)